

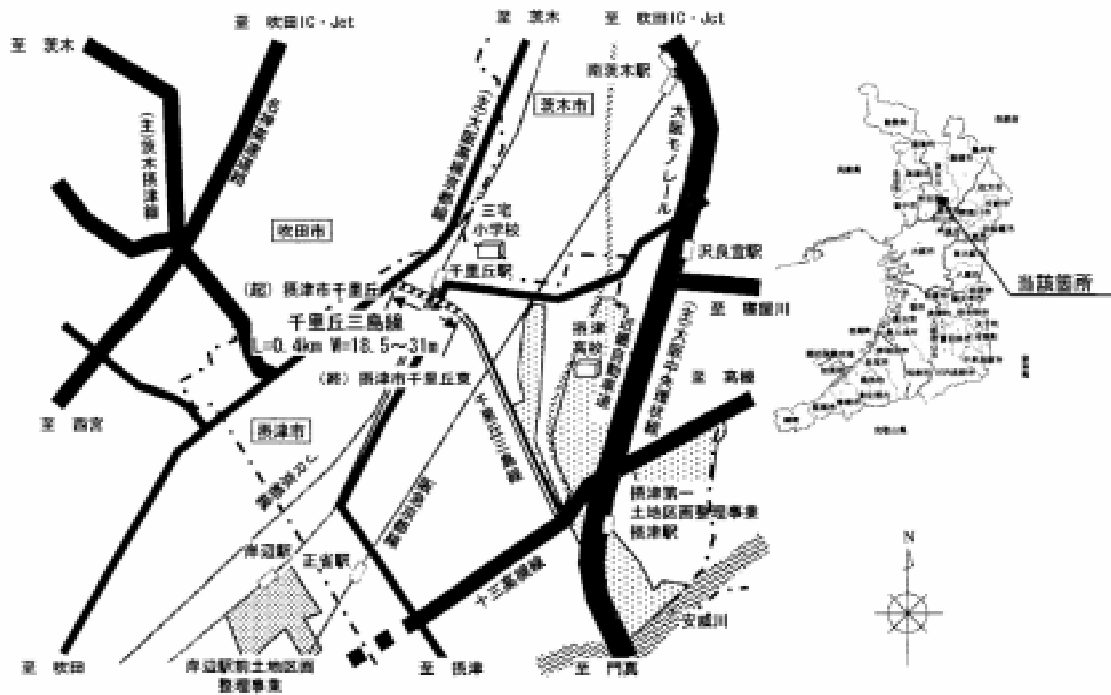
再々評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：都市地域整備局街路課
 担当課長名：松谷 春敏

事業名	都市計画道路 <small>せんりおかみしせん</small> 千里丘三島線		事業区分	街路事業		事業主体	大阪府	
起終点	自：大阪府摂津市千里丘一丁目 至：大阪府摂津市千里丘東三丁目				延長	0.4 km		
事業概要	JR東海道本線を横断する府道（地下道）の幅員が1車線しかなく、信号処理による交互通行になっており、交通のボトルネックとなっていることから、2車線へ拡幅整備し交通の円滑化を図るものである。							
H2年度事業化	S3年度都市計画決定（S51年度変更）		H2年度用地着手		H10年度工事着手			
全体事業費	約175億円		事業進捗率	70%		供用済延長	0 km	
計画交通量	15,630台/日							
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 3.1 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /141億円 (事業費：/140.5億円 維持管理費：/0.5億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) /437億円 (走行時間短縮便益：/425.3億円 走行費用減少便益：/6.7億円 交通事故減少便益：/5.0億円)	基準年 平成16年				
事業の効果等	・円滑なモビリティの確保（片側通行となっていることから生じている慢性的な渋滞を解消する） ・国土・地域（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） ・災害への備え（密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす）等							
関係する地方公共団体等の意見	・交通量の増大に伴う渋滞緩和並びに、歩行者等の安全確保の観点から早期整備が望まれている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・混雑度は減少傾向にあるものの依然として混雑している。							
事業の進捗状況、残事業の内容等	・再々評価時点において、進捗状況は用地91%、工事11%となっている。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・平成21年度供用にむけて事業推進に努める。							
施設の構造や工法の変更等								
対応方針	事業継続							
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。							
事業概要図	次ページ							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

事業概要図



計画交通量：15,630台 / 日